

### 歩きとおした 66Km

#### 汗・涙・感動の夜間歩行

7月10日8時、小雨がぱらつく中、本校を総勢16名の精鋭達が出発しました。

今年の夏の大会1回戦は八幡平球場ということで、夜間歩行は無理であるとの声が出ていました。

しかし、応援団幹部や有志達からの強い要望から、70kmもの夜間歩行が実現しました。

歩行隊員は、応援団幹部の熊谷亮介君、鷹嘴啓君、堀切寿彦君、補助幹部として石塚昇路君、立花拓紀君、佐々木亮君、根子直也君、佐藤琢郎君、小原一誠君、柏田峻君、戸來真之君の8名、更に1・2年から5名の幹部と補助幹部です。



出発前 校長・副校長が激励

16名は、翌日の盛岡中央戦に臨む野球部に対して、勝利の思いを込めながら一步一步大地を踏みしめ、目標の八幡平球場へと足を進めました。

途中、石鳥谷地区や紫波地区などで、保護者や地域の方々から炊き出しや熱い激励を受けました。バンカラや、夜間歩行などは消えつつある慣習かもしれません。それだけに、地域やOBの注目度は高く、また見守る保護者の視線は暖かく、愛情のこもったものでした。彼らは、そのような地域・父母の激励を次の行動への力に換えながら、ひたすら歩き続けました。

途中雨に見舞われるなど、厳しい状況でしたが、互いに励ましあい、見事に歩きとおし、1名の脱落者もなく球場に到着しました。

到着後は疲労の顔を見せず、生徒、そして選手と一体となって全力で応援を行う姿は感動的でした。



保護者の方々から多くの差し入れがありました。ありがとうございました。



花北の伝統と歴史の重みを感じるOBからの激励のエール。



途中でトラブル発生(笑)? それらを乗り越えてこそ芽生える友情か。



歩く  
歩く  
そして  
歩く



「道の駅にしね」に到着。ゴールは間近。

写真提供  
立花拓紀